

山陽小野田市健康づくり推進協議会議事録

会議の種類	平成30年度第3回山陽小野田市健康づくり推進協議会	
日時	平成31年2月28日(木) 18:00~19:30	
場所	市役所3階 小会議室	
出席者	山口県看護協会小野田支部 赤瀬千恵子 (委員) 山陽小野田市連合女性会 井上幸子 (委員) 小野田医師会 川端章弘 (会長) 市民代表 曾瀬護 (委員) 山口東京理科大学 武田健 (委員) 山陽小野田市自治会連合会 千々松正俊 (委員) 厚狭郡医師会 中根比呂志 (委員) 山陽小野田市食生活改善推進協議会 半矢幸子 (副会長) 市民代表 福田順子 (委員) 山口県歯科衛生士会山陽小野田支部 藤本文子 (委員) 山陽小野田市社会福祉協議会 光永仁 (委員) 厚狭歯科医師会 山崎哲朗 (委員) 山陽小野田市ふるさとづくり協議会 山田義隆 (委員) 山陽小野田市母子保健推進協議会 吉田由美子 (委員) (出席者数 14人)	
欠席者	山口宇部農業協同組合 相本まゆみ (委員) 山陽小野田市小・中学校PTA連合会 川崎雅信 (委員) 山口県栄養士会宇部地域専門部会 菊竹美和 (委員) 小野田歯科医師会 平木雄三郎 (委員) 山陽小野田薬剤師会 松澤進 (委員) 山陽小野田市老人クラブ連合会 守田節子 (委員) (欠席者数 6人)	
オブザーバー	山口県宇部健康福祉センター	小林聖子

事務局	<p>現在、全庁的にホームページの改定作業を行っている。それに伴って「スマイルエイジング」が一面に出る予定で準備している。</p>
委員	<p>2. スマイルエイジング健康講座シリーズ（出前講座） 小中学生の講座内容にがん・お酒・たばこが入っているがこの時期にやる動機はなにか。</p>
事務局	<p>計画の策定にあたり、たばこ・お酒の教育はなるべく早めに始めたほうが良いという考え。</p>
委員	<p>がん予防も良いがこの時期にもっと教えるべきことがあると思うが。</p>
事務局	<p>がん教育に関しては厚生労働省・文部科学省からの指示が出ている。</p>
委員	<p>講座は講演会形式になるのか。</p>
事務局	<p>講演会ではなく出前講座。こちらが企画するのでなく地域から依頼を受けて出て行く形を想定している。</p>
委員	<p>誰が行くのか。</p>
事務局	<p>市の職員が行っている。健康増進課だけでなく他課の職員も加わる。今後は外部講師の予定もある。</p>
委員	<p>毎回実際に行くのは大変。DVD化して貸し出すなども検討してみてもどうか。</p>
事務局	<p>出前講座自体は既に市で行っている。その中で健康に関連の深いものを市民がを見つけやすいようにひとくくりにして周知するのが目的の一つ。外部講師については登録制を想定している。</p>
委員	<p>登録制というのはこちらとしては待ち望んでいた形。講師をリスト化し多くの方に利用してもらえると良い。</p>
委員	<p>市民が選べるという仕組みはとても良いと思う。</p>
委員	<p>過去の出前講座はどれくらい利用があるのか。まだまだ認知度が低い気がするのだが。もっとアピールが必要なのでは。出前講座と聞くだけで敷居が高い感じがする。</p>
事務局	<p>健康増進課の平成29年度実績としては、保健師が25回、管理栄養士が30回出務し、延べ1,300名に利用いただいている。もっとPRできるよう努力していく。</p>
委員	<p>働き世代の産業医がいないような事業所等に是非出かけて欲しい。</p>
委員	<p>3. 風しん対策 風しん単体のワクチンが不足している。単体のワクチンの接種となるのか。</p>
事務局	<p>抗体検査は風しんのみだが、予防接種はMR（麻しん風しん）混合ワクチンでの接種が想定されている。</p>
委員	<p>料金はどうなるのか。</p>
事務局	<p>国からは原則無料だとされているので無料の方向で検討を行っている。決定には至っていない。</p>
委員	<p>宇部健康福祉センターなら今でも受けられるのか。</p>
事務局	<p>抗体検査は可能だが、こちらの事業とは対象者が異なるため、直接問</p>

		い合わせて確認してほしい。
委 事 務 局	員 局	4. 救急安心センター事業（#7119） 急に病気になったときに電話するのか。 病院に行くべきか迷う時など比較的軽症な患者に利用していただきたい。明らかに症状が重篤な場合は迷わず救急車を呼んで欲しい。
委 事 務 局	員 局	市内には夜間に救急対応の病院がないのではないのか。 山陽小野田市・宇部市・美祢市で輪番病院を決めている。労災病院や市民病院が当番日ではない場合は宇部市や美祢市に搬送されることもある。
委 委 員	員	当番日数としては宇部興産中央病院が多いため宇部市に運ばれることが多いかもしれない。
委 事 務 局	員 局	救急車が来てもなかなか出発しない。病院が受け付けてくれない。市内で救急対応を行いスピードを上げられないか。 広域での会議をもって協議している。年々搬送の時間は短くなってきている。今後も努力していく。
委 委 員	員	埴生地区には病院がない。自治体としてはどう考えるか。 これは難しい問題。山口大学医学部に入る学生も半分が県外に出て行ってしまう。
委 委 員	員	訪問診療をされている病院は何箇所くらいあるのか。 開業医がそれぞれ患者さんに行っているもので詳しい数値はわからないのではないのか。
委 事 務 局	員 局	記憶では10箇所くらいあったと思うが、中には件数は1件の病院もあったと思う。高齢福祉課の方で在宅医療の協議を行っているところ。
委 事 務 局	員 局	電話はどこにつながるのか。 県庁につながった後に、契約先の医師・看護師・相談員に転送される。通話料は県庁までの電話代を払うこととなる。
委 委 員	員	救急病院の負担軽減になることを期待する。
委 事 務 局	員 局	（4）平成31年度山陽小野田市保健事業計画（案）について 事務局から説明 健康手帳についてダウンロードとなっているが、まだ配布しているのではないのか。 現在はまだ在庫があるため配布している。なくなり次第ダウンロードのみになる。
委 委 員	員	ホームページで周知とあるが、まだまだパソコンを使わない人も多い。そのあたりは理解していただきたい。 健康マイレージについては、何に利用したら良いか、どうしたら貯まるのかもよくわからない。ポイントを貯めるのにワクワクするような仕掛けが必要だと思う。
委 事 務 局	員 局	貴重な意見。貯めたくなるような仕掛けを作るよう努力する。
委 委 員	員	マイレージについてはまだ始まったばかり。今後定着していくよう努力

事務局	<p>して欲しい。協力団体は前回より増えたのか。 2店舗増えた。</p>
委員	<p>(5) その他 事務局より説明</p>
事務局	<p>「スマイルエイジング」という言葉は他に使っているところはないのか。</p>
事務局	<p>調べたところ神奈川県が使っていた。 「スマイルエイジング」を山陽小野田の標語として全国的に展開していくと良い。私はすごく良い標語だと思う。</p>
事務局	<p>言葉に負けないよう良い事業を行っていく。</p>
オブザーバー	<p>オブザーバーから助言</p>
オブザーバー	<p>風しん検査について現在月2回半日のみ行っている。今後は医療機関でも行えるよう調整しているところ。 全国的に見ても市長がトップに健康づくりを打ち出し、戦略的に健康づくりを行うことで成功している市が出てきている。これからは限られた予算と人員の中でいかに効率的に進めるかが課題。健康講座シリーズについても、数値化した目標を明確にし、一緒にやっていく人に掲示することで新しいアイデアがでてくる。常に改善し、考え続けて変えていくことが必要だと思う。山陽小野田市には是非牽引していただいたい。</p>
委員	<p>4. その他 特になし</p>
事務局	<p>福祉部次長あいさつの後、閉会した。</p>